



特集 みんなが住みたいまちに 男女共同参画から防災を考える

九州で初めて震度7が確認された熊本地震、そして平成29年7月九州北部豪雨など、近年私たちのまわりではさまざまな災害が多発しています。もし何らかの大災害が発生した場合、私たちの暮らしには何が起こるのでしょうか？

次に来るかもしれない災害に備え、過去の災害の経験と教訓に学び、今、私たちにできることを考えてみましょう。



●問い合わせ先 人権政策・男女共同参画課 男女共同参画担当 ☎(918)1311

長時間労働や失業、休業など

職場によっては、働く人は復旧作業などにより長時間労働を強いられることもあります。また、職を失ったり、交通機関が復旧しないため通勤や退勤が困難になるなど、経済面で大きな打撃を受けることになります。

仕事

女性の声が 反映されない？

避難所では、トイレや更衣室が男女共用で使いにくい、授乳室がない、また炊き出しやトイレ掃除などを安易に女性の仕事として割り当てられるケースもあります。避難所生活で女性の声がきちんと反映されないと、その環境はどうなるのでしょうか？

避難生活

今 もしも 災害が起こったら

災害現場で私たちが直面するさまざまなトラブル。
何が起こるのか、考えたことはありますか？

暴力

DVや性暴力などの 被害が増加

災害、避難所・避難先では女性や子どもへの性被害・性暴力、DVなどが発生するリスクが高まります。被害者は日常にも増して声をあげにくい状況にさらされます。

ライフラインの寸断 安否確認ができない？

水道・ガス・電気など、ライフラインの見通しがつかなくなったり、電話が通じない場合は家族の安否確認ができないことも。さらに家庭や地域での孤立が考えられます。平日に発生した平成29年7月九州北部豪雨では、多くの女性や子どもたちが孤立した状態になりました。

地域・家庭

今災害が起こったら…少し考えただけでもたくさんのトラブルが想定されます。しかし、実際に災害が起こったときには思いもしなかった想定外のトラブルも起こります。

大災害が発生したら、どのようなことが起こるのか、また、その時に備えて、私たちは何をすべきなのか、話を伺ってきました。



さいがい 災害から学び、 よりよいまち 街にするために

朝倉市 文化・生涯学習課
生涯学習・スポーツ係長
井本 雅晶さん

平成29年7月5日から6日にかけて朝倉市を襲った豪雨。2日間の総降水量は545.5ミリ。想定外のことが起こり続けた中で避難所運営を統括した井本さんと、男女共同参画の視点で意見箱を設置するなど避難所運営に携わった柳瀬さんに話を伺いました。

朝倉市 総合政策課
男女共同参画推進・青少年係長
柳瀬 ユミさん

想定外の大災害
多くの支援に助けられる

発災当初、市役所は混乱していました。避難所の開設、孤立した集落の対策など、さまざまなことが求められる中で、亡くなった人や行方不明者に関する連絡など、朝から晩まで電話が鳴り続けました。通常業務も行う必要があり、職員だけでは対応は不可能な状態でした。防災マニュアルはありますが、これほど大規模で長期的な災害を想定しておらず、想定外のことが続きました。

避難所運営に関しては、県内の市町村から派遣される職員やNPO法人（特定非営利活動法人）の支援に助けられました。146団体ものNPO法人には、避難所運営のノウハウを持つ人も多く、多くの助言をいただきました。

学校の先生も協力してくれました。子ども用の肌着が不足した時は、先生が一人ひとり聞いて準備をしてくれました。また、被災以降、雨が降ると頭痛や腹痛を訴える子が多かったのですが、スクール

カウンセラーが月3回カウンセリングするなど、メンタルケアも行ってくれました。

あらゆる人への配慮を

避難所開設の1週間後、「避難所では女性や子どもの性被害・性暴力、DVなどが発生するリスクが高まります」という内容のポスターを掲示しました。熊本市男女共同参画センター「はあもにい」が作成し、熊本地震の避難所で提示したポスターのデータを提供してもらったものです。「非常時だからこそ大事」という強い思いで取り組みました。2週間後には、女性用の生活用品、男性用の尿とりパッドなどをトイレに設置しました。男性・女性だけでなく、子ども、高齢者、障がい者、あらゆる人への配慮を心がけました。



避難所に掲示したポスター

●朝倉市の被害状況（4月3日現在）

人的被害	51人	住家被害	1,469件
死者	33人	全壊	251件
行方不明者	2人	半壊	791件
負傷者	16人	一部損壊	427件

●朝倉市の避難所の状況

（平成29年7月5日～11月25日）

	避難所	避難世帯	避難者
7月5日	11カ所	345世帯	714人
7月10日	10カ所	590世帯	1,204人
7月31日	7カ所	278世帯	545人
8月31日	5カ所	110世帯	224人
9月30日	3カ所	19世帯	42人
10月31日	1カ所	4世帯	10人
11月25日	避難所閉鎖		

意見箱を設置
男性用更衣室は不要？

避難所開設の3週間後には直接意見を言いにくい人の意見を吸い上げるため、意見箱を設置しました。周りを気にせずに意見を投書してもらえるように、目立たないトイレに設置しました。

「トイレで着替えているので男性用更衣室がほしい」という男性からの意見がありました。女性用の簡易更衣室は設置していたのですが、男性用はなかったのです。どこかで「男性は着替えるくらい恥

ずかしいくない」という思い込みがあったのかもしれない。その後すぐに更衣室を設置しました。

開設から144日、
全避難所を閉鎖

避難所を閉鎖する時には必ず一人ずつ聞き取りをしました。「家はどのような状態ですか」「私たちにできることはないですか」と、決して追い出すことはせず、事情がある人には病院や介護施設を案内するなどしながら、一カ所ずつ閉鎖しました。



意見箱を持ち「あらゆる人の意見を吸い上げることが大切」と語る柳瀬さん

難しいのは、お金がない人は福祉事務所、要介護認定を受けている人は介護施設を案内するなどの対応ができるのですが、例えば、「お金がなくて困っているが、生活保護を受けられるほどではない」場合。障がいに関しても、介護に関しても「ぎりぎり」基準に達しない人は、なかなか避難所から出られず、自立ができない。そのような人たちのフォローも大切だと思います。

コミュニティ力Ⅱ防災力

コミュニティのつながりが深い地域の避難所は定期的に会議をして要望を集約するな

どしていましたが、そうでない地域は個別に要望を聞きました。すると、個人の思いが強くなり、收拾がつかなくなる。コミュニティの結束力が求められますし、コミュニティ力が防災力につながるのだと思います。コミュニティ、防災、男女共同参画などが整った中で住みやすいまちができていくのではないかと思います。

行政、地域が
共にまちを守る

支援に来てくださった中には、東日本大震災や熊本地震などへの支援の経験から、被災したときにどうしたらいいかを分かっている自治体もあり、非常に助けられました。被災地を手伝い、そこで終わるのではなく、被災地での支援の経験を持ち帰って防災マニュアルづくりなど、自分たちのまちの防災に生かしていくことも重要だと思います。

また、避難者が自分たちで役割分担しながら避難所運営できるように、マニュアルの

土台となるものを市が作成する必要があります。土台ができれば、コミュニティで防災訓練や協議を重ねながら、その地域独自の仕様に作り上げていく。平時時に備えておくことが大切だと思います。

多様な視点で住みやすい
まちづくりを

現在は、福岡県男女共同参画センター「あすばる」と連携し、地域活動の実践力を高める講座を実施するため、朝倉郡筑前町、東峰村などと検討中です。女性防災リーダーが育ち、自主防災活動につながることを目標としています。

性別に関係なく、すべての人が責任を担うことは大切なこと。多様な視点でよりよい避難所運営、よりよいまちづくりにつなげていく。災害を乗り越えて、前より住みやすくなったと言われるようになればいいと考えています。

つながって、 たす助け合あう

先進的な防災活動を行い、平成22年に福岡県防災賞を受賞した湯町区で区長・防災防犯委員長を務めた森田陽子さん。

現在は二日市コミュニティ運営協議会会長を務め、市内7つのコミュニティで力を合わせ地域防災に取り組んでいます。

また、筑紫野市防災会議の委員として、女性の防災組織への参画を目指す森田さんに話を伺いました。



二日市コミュニティ運営協議会会長 森田 陽子さん

地域で進める
安全安心のまちづくり

昨年度は「災害に備えるー熊本地震の体験から」をテーマに防災講演会を開催したり、消防署から講師を迎えてAEDの使い方などを学ぶ急救生命講習会、福岡市防災センターへの視察研修などを行いました。今年度も小学校の運動場や体育館を使った避難所訓練を計画しています。二日市コミュニティは二日市小、二日市北小、天拝小の3つの小学校区で構成されていますが、大規模な災害が起こったときに避難所になるであろう小学校の構造や、学校内のどこに何の防災グッズがあるのかを把握して、スムーズに避難できる体制をつくり、「安

安全安心のまちづくり」を進めていきたいと考えています。

性別にとらわれない
役割分担

3月に行った防災訓練では、炊き出しの訓練で、本町区の「男の料理」サークルの男性が「しし鍋」を作ってくれました。「炊き出しは女性がするもの」というイメージもありますが、今は女性も働きに出るし、男性も家事をする時代。救出・救命などは男性の力に頼る部分はありますが、女性でも発電機を操作できるように講習を行ったり、男女で役割を区別せず、誰もが同じことができるような体制を理想としています。



消火、通報、避難誘導などを行った3月の防災訓練



「男の料理」サークルが作った「しし鍋」はとてもおいしいと好評でした

防災を習慣づける

避難所運営ゲーム（HUG）や災害図上訓練（DIG）は机上で行う訓練で、それだけでは災害時にどこまで役に立つかは分かりません。しかし、避難所運営の考え方を持っておくこと、自分が住んでいる地域、危険な場所などについて知ることは大切です。その上で、何かあったときにはどこに逃げるか、家族とはどこで連絡を取り合うか、決めておくべきです。

湯町区で行った「防災防犯ウォーク」は、区で作成した防災防犯マップを使って、湯町の危険箇所を回りながらクイズに答えるものです。楽しみながら防災教育を行ったり、地域のイベントと訓練を結びつけたりすることで、防災を習慣づけることが大切だと思います。

横のつながりを大切に

高齢者や障がい者などには、災害時等要援護者支援制度（※）への登録を勧めています。しかし、支援者が市外



HUGは、見取り図上で避難者や物資をどこに配置するかなどを決めていきます

に住む家族だった場合、いざという時にすぐ駆けつけられるか？ 民生委員だった場合、災害時に何人の人を助けられるか？ 難しいのではないかと思います。それよりも、隣組単位で、町内に寝たきりの人がいる、最近赤ちゃんが生まれた人がいるなどを把握して、災害が起こった時に、「あの人が見当たらない」とみんなで見つけ合うことができれば、それが一番だと思います。日ごろのつながりを大切にして、助け合う。公民館やコミュニティセンターにも気軽に来て、つながりをつくってもらえたら嬉しいですね。

二日市コミュニティ運営協議会の福祉部会では民生委員、福祉委員、区長などと協力し独居老人を訪問する「愛

の見守り訪問」を行い、実態の把握に務めています。誰が支援を求めているかを確認し、地域で助け合っているかと思っています。

一人でも多くの人がリーダーシップを

例えば、リーダーが少数しかいない場合、災害が起こったときにその人たちが集まるとは限りません。でも、そこにいるメンバーで何とかするしかないのです。いざという時の危機管理能力をみんなが培い、できるだけ多くの人がリーダーシップを持つことが大切だと考えます。

防災士という資格があります。防災に関する知識や技能を持つ防災士は、地域の防災力向上に必要な存在ですが、資格を取得するのに費用が6万円ほどかかります。二日市コミュニティ運営協議会では今年度から新たな取り組みとして、防災士の資格を取得する人に助成を行います。資格を取得した人が地域で避難所運営などに生かしてもらえ

防災に女性の視点が必要

避難所運営は、男性の視点だけでなく気づかない部分もあります。例えば、授乳や妊婦さんに関する女性特有の問題。防災の組織に女性が多く参加し、女性の視点を増やすことは大切だと思います。

二日市コミュニティの21行政区から1名ずつ選出される構成される防災防犯委員会に、今年、消防団を卒業した女性が湯町区から選出されました。初めての、唯一の女性です。今後もっと女性のメンバーが増えれば、と思います。

積極的に取り組む姿勢を

8年前に湯町区が福岡県防災賞を受賞したのは、他の地域がしていないことに取り組んだからだと思います。消防署に質問をしたり、研修に参加したりして、自分たちの地域独自の防災を作り上げていきました。前例がないことを始めたり、何かを変えることはとても大変なこと。でも、誰かがやらないと何も始まらない。失敗を恐れずに、積極

的にチャレンジをすることが大切。それは防災の取り組みも、男女共同参画も同じことではないかと思っています。

※災害時等要援護者支援制度とは？

高齢者、障がい者などを災害から守り、地域で支える制度です。

要援助者（援助を要する人）が支援者（援助をできる人）を決めて登録し、支援者は日ごろの声かけや、災害時の避難の呼びかけなど、できる範囲の支援をお願いします。

地域は要援護者の情報を管理し、災害時の安否確認などに役立てます。

●要援護者はこのような人
75歳以上の高齢者、要介護認定者、障がい者、難病患者、妊産婦、外国人など

●支援者はこのような人
一番望ましいのは、要援護者の近隣の人です

●問い合わせ先
生活福祉課 地域福祉担当

家庭

- 個人や家族、それぞれの状況に応じた非常時持ち出し品、備蓄品を準備しておきましょう。
- 普段できないことは、災害時にはもっとできないことを自覚して、日頃から、家事や育児、介護などは家族みんなで話し合い、分担して支え合いましょう。
- 災害時はどこに逃げるか、どこで連絡を取り合うか、話し合っておきましょう。
- 自然災害に対応した保険に加入しているか確認し、加入していない場合は検討しましょう。

地域

- 日頃から地域活動への女性の参画を促進し、男女がともに支えあう地域づくりに努めましょう。
- 誰もが災害時に行動できるように、地域の防災訓練や学習会などには、年齢や性別にかかわらず積極的に参加しましょう。
- 避難所の構造、防災グッズの保管場所などを把握しましょう。

そな 備えよう！

わたし
私たちに、できること。

行政

- 被災地などへの支援を行いながら、経験を市の防災に生かします。
- 消防団活動などへの女性の積極的な参画を働きかけます。
- 公民館や事業所などに出向き、防災対策などの説明を行う「防災出前講座」を行います。
- 防災や防犯に関する講演会などを開催し、安全安心なまちづくりを推進します。

筑紫野市安全安心まちづくり推進大会

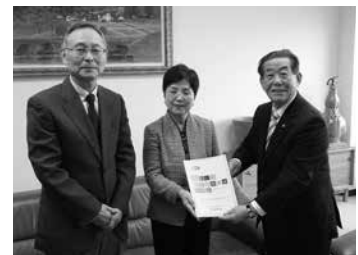
- 日時 6月29日(金)
14時15分開会、15時45分閉会予定
- 場所 生涯学習センター2階さんあいホール
- 講演 「避難所からのコミュニティ形成」
- 講師 吉村 静代さん
- 概要 熊本地震の被災者でもある講師が、益城町の避難所の環境整備に取り組んだ事例などについてお話しします。

「第3次ちくしの男女共同参画プラン」を策定しました

市では、「男女共同参画社会基本法」をはじめとする法令や、国・県の上位計画に基づき、新たに「第3次ちくしの男女共同参画プラン」(計画期間2018年～2027年)を策定しました。このプランは「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」に基づく市の基本計画として、また「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく市の推進計画としても位置づけています。

今後、このプランに基づき、市における男女共同参画社会の実現に向けて各種施策を推進していきます。

なお、防災に関することについても「男女共同参画の視点に立った防災・災害復興施策の推進」をプランの中で目標として掲げています。



3月29日、筑紫野市男女共同参画審議会からプランについて答申されました

男女共同参画ぷち★フェスタ

●開催場所 筑紫野市生涯学習センター(市内二日市南1-9-3)

国では、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」とし、性別や立場を超え、皆がいいききと暮らせる男女共同参画社会について、理解を深めることを目指しています。

筑紫野市では、この週間にあわせて「男女共同参画ぷちフェスタ」を開催します。

お気軽にご参加ください。

男女共同参画関係団体による

「フリーマーケットと農産物販売」

●日時 6月24日(日)

9時30分～14時

●場所 屋外ピロティ

※売れ行きにより早めに終了する場合があります。

※このフリーマーケットの収益は男女共同参画関係団体の活動資金等になります。
個人での出店はありません。



今年も
つくしちゃんに
会えるかも？

男女共同参画週間中
1階の多目的ホールでは、
「災害と男女共同参画」
に関する
パネル展示を開催します。

★男女共同参画関係団体による自主企画(お申し込みは各団体へ)

筑紫野市翼の会

「避難所運営ゲーム(HUG)～災害時も多様な視点を大切に～」

ワークショップ

●日時 6月17日(日) 13時30分～15時30分 ●場所 学習室6(参加無料)

●申し込み先 ☎090-3799-2701(松尾)

ちくしのエコライフ

「ペットボトルプランター作り」

ワークショップ

●日時 6月23日(土) 10時～11時 ●場所 2階 木工室(材料費200円)

●申し込み先 ☎090-5294-5618(平野)



高齢者福祉を考える市民の会

「あんしんして地域で暮らすために～在宅サービス、施設の利用～」

講座

●日時 6月23日(土) 14時～16時 ●場所 3階 学習室6(参加無料)

●申し込み先 ☎092-922-8070(楓)、☎092-926-0498(白土)、☎092-921-9754(坂本)

ちくしのフォーラム

「プレ出前講座『わたしたちの防災』(寸劇と○×クイズ)」

ワークショップ

●日時 6月24日(日) 14時～15時 ●場所 男女共同参画プラザ(参加無料)

●申し込み不要(当日直接会場にお越しください)

地域ねこサポート会ちくしの

「野良猫に困っている地区のための『地域猫活動講座』」

講座

●日時 6月27日(水) 14時～16時 ●場所 学習室6(参加無料)

●申し込み不要(当日直接会場にお越しください)

●主催 男女共同参画ぷちフェスタ実行委員会/筑紫野市

●問い合わせ先 人権政策・男女共同参画課 男女共同参画担当 ☎(918)1311